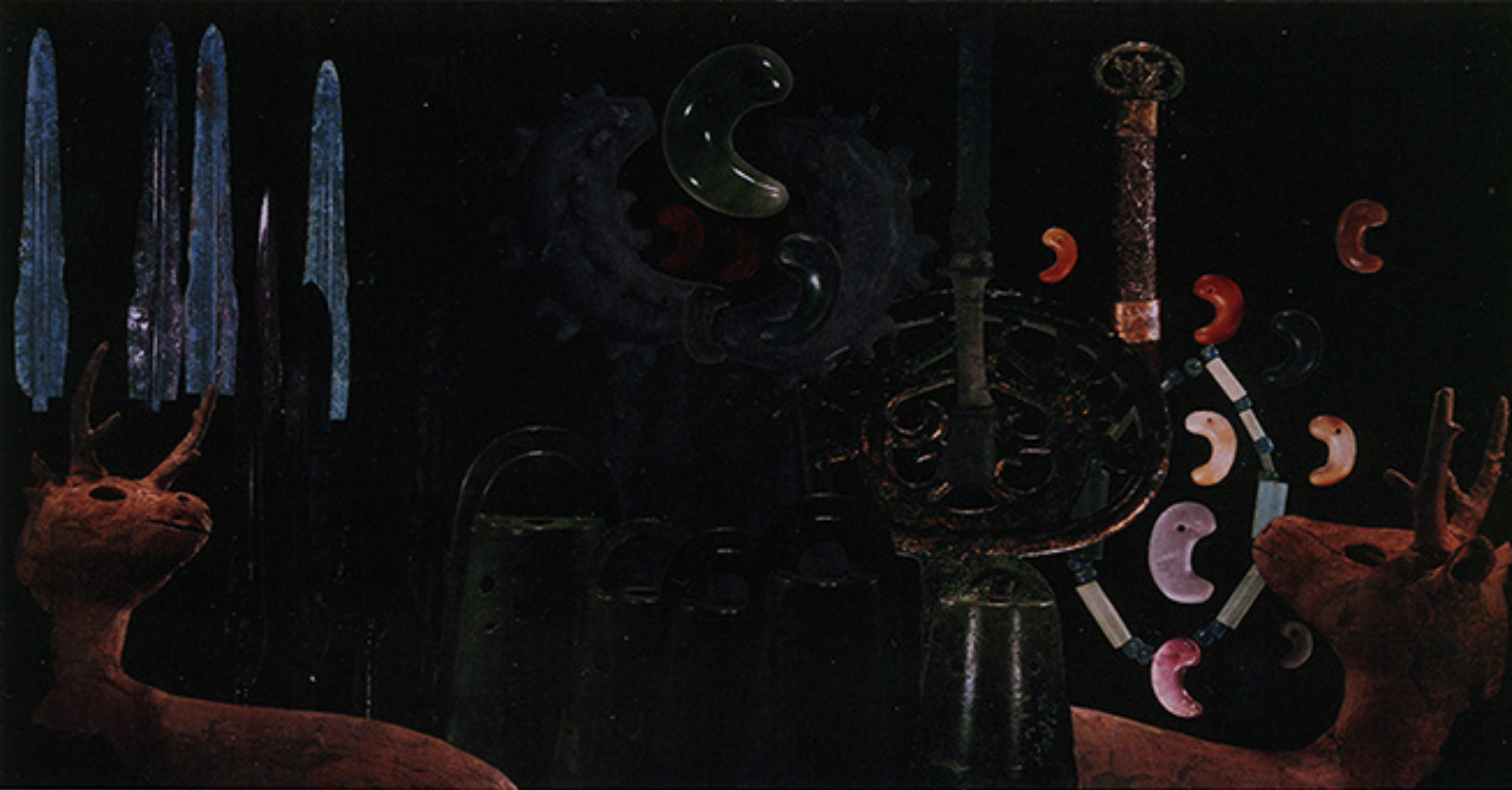


並河萬里写真展

山代二子塚ができたころ、  
世界では…。The Second



上：古曾志大谷1号墳 撮影1994年 / 下：出雲の至宝 撮影1992年

# ガイダンス山代の郷

GUIDANCE YAMASHIRO NO SATO

〒690-0031 鳥根県松江市山代町 470-1

TEL 0852-25-9490 / FAX 0852-25-9490

<https://www.yakumotatu-fudokinooka.jp/guidance>

2023年10月21日(土) - 2024年1月15日(月)

〈開館時間〉 午前9時～午後4時30分(入館は午後4時まで)  
〈休館日〉 毎週火曜日(祝日の場合は翌日 12月29日～1月3日休館)  
〈観覧料〉 無料

## 〈アクセス〉

公共交通機関でお越しの方

- ①JR 松江駅より一畑バス八雲行き約13分、山代町下車徒歩2分
  - ②JR 松江駅より市営バスかんべの里行き約13分、山代町下車徒歩2分
- お車でお越しの方 ※駐車場は普通車10台、バス2台(無料)  
山陰自動車道松江東ICより八雲方面へ約3分

展覧会は諸般の事情により、変更することがございます。最新情報は当館ホームページをご確認ください。

6世紀頃、八雲立つ風土記の丘周辺では、山代二子塚古墳をはじめとした、大庭・山代古墳群や岡田山1号墳など多くの古墳が造られました。

日本史では、古墳時代から飛鳥時代へと時代が移り変わろうとしていた頃です。

そのころ世界ではどのような文化が開花したのでしょうか。

写真家<sup>なみかわばんり</sup>並河萬里が撮影した写真作品で悠久の歴史をご紹介します。

#### 都市と神殿のやすらぎ



乾燥の世界より久しぶりに帰国し、小雪ちらつく奈良をたずねた。山焼きの紅蓮の炎は砂漠の山をこがす乾いた渦巻く野火とは違い、しっとりとして美しかった。(並河萬里)

左から 猿石吉備姫王正陵 / 1968年 石舞台古墳 / 1958年 興福寺若草山山焼き / 1968年

#### 草原と砂漠、灼熱と酷寒の地に刻まれた風土と造形



左から バレンケ遺跡宮殿 / 1975年 パーミヤン石窟西大仏 / 1977年 エローラ石窟第2洞窟 / 1975年 海岸寺院 / 1991年

#### 交差する光と影



山頂にある草原の砂嵐の中に夕日が沈む。茜色に輝くバルティア朝の宮殿が一瞬にして浮かび上がった。ゆっくりシャッターを切る。(並河萬里)

左から テオドリクスの廟 / 1969年頃 サン・ヴィターレ聖堂 / 1969年 ササン朝の宮殿址 / 1966年

#### そして神秘と瞑想、生命の讃歌



左から ブダニールカンク寺院 / 1982年頃 ハギア・ソフィア大聖堂中央円蓋 / 1981年 菩薩 / 1977年



### 並河萬里 <Banri Namikawa>

日本大学芸術学部写真学科 1955年卒。以来半世紀にわたり、シルクロードを軸として世界各国を歩き世界的遺跡写真家として活動。ユネスコ世界文化遺産主席写真家として数々の学術調査に参画。国内外での受賞歴多数。文化遺産の撮影を通して、人間と世界の在り様をみつめつづけてきた。1993年、父母の故郷である島根県に撮影フィルムを寄贈。2006年5月7日逝去。

主催：鳥根県立八雲立つ風土記の丘 公益財団法人しまね文化振興財団

公益財団法人しまね文化振興財団写真文化事業室 TEL：0852-36-5300 FAX：0852-36-5390 <http://photo-culture.jp/>

